



福山民報社  
福山市津之郷町  
津之郷 970-1  
Tel.084-952-2662  
FAX084-952-2660



## 母親大会と福山市が2回目の要望懇談

# 当事者の声、施策に反映を

11月20日、今年2回目

の福山市母親大会と市の要望懇談が行われました。みよし剛史、塩沢みつえ両市議が同席しました。

福山市母親大会実行委員会から5月に6分野・40項目の要望書が福山市へ提出され、7月に市からの文書回答がありました。



要望懇談会に母親大会実行委員を含め、約20人が参加

今回の要望懇談では「子ども」「環境」「平和」「くらし」に係る施策についての参加者からの意見に対し、所管の市職員が応答する形式で話し合われました。

## 市民からの要望 切実な願いが続々

就学前児童の保護者からは、「夏が暑すぎて公園で外遊びができず家から出られない。暑い夏でも自由に過ごせる居場所が欲しい」、「福山には児童館がないが他市ではあるのが当たり前。交流館やふれあいプラザは開放できないのか」といった切実な思いと対策の提案がありました。介護職場の従事者から

は、「介護職員の人手不足に対応するために6000円の処遇改善が行われたが、実際には人材は全く確保できていない」、「福山市も賃金水準の引き上げを国に要望しているのであれば具体的な手立ても含めて提案してほしい」と介護現場の厳しい実態が語られました。

視覚障がい当事者からは、日常生活用具への補助やヘルプマークの配布などの要件見直しを求める声や、朗読の派遣サービスを作りたいという願いが寄せられました。

## 意見交流を力に あたためたい市政へ

その他、様々な分野の当事者から意見が続きました。懇談の終わりに福山市母親大会代表の尾前氏は、今後の市の施策に当事者の声を反映し、暮らしや福祉の課題の改善に努め、次年度以降も懇談会を継続するよう求めました。

## 自衛官募集活動に福山市が協力？

# 自衛隊コンサートを「後援」

11月21日、憲法9条改憲ストップ福山実行委員会など3団体が福山市・福山市教育委員会・世界バラ会議実行委員会に対し、自衛隊のファミリーコンサートへの「共催・後援」の中止を求めて要望しました。要望書の提出と意見交換が行われました。

## 個人情報提供に危惧 なぜ市が共催・後援

11月30日開催の自衛隊コンサートのチラシが回覧板やインターネット上で周知されていますが、世界バラ会議福山大会実行委員会が「共催」、福山市と福山市教育委員会が、「後援」として名前を連ねていました。

この指摘に対し、市と教育委員会は、「学校が参加者をまとめて申請することを止められるものではなく、校長の判断」、「イベントの募集形式を後援承認の判断材料としない」、「教育・芸術・文化活動に資するものであることを判断基準としている」、「事業に対して後援しており自衛隊かどうかは問題にしない」などの認識を示しました。世界バラ会議実行委員会が共催している点については、「世界バラ会議を応援し、PRにつながるのなら断るものではない」と答えています。

団体からは、コンサートのチラシに「中高大学生は学校からの申し込みで優先予約」としており学校からの申込みで個人情報提供されるのではないかと危惧する意見や、自衛隊の役割が大きく変容している下で、戦災復興の象徴である「ばら」を推進し、「非核平和宣言都市」を掲げる福山市が「共催・後援」することの問題点を指摘する声が多くなりました。

3団体の代表者が要望書を提出 共催・後援承認に関わる部署が受け取り



自衛隊の在り方を巡る議論は賛否が分かれる政治課題となっており、市民意見も様々です。市がイベントを「共催・後援」することで、自衛官募集事務に協力していると捉えられかねず、慎重な判断が必要なのはです。